

1 部

学習サポート

各種申込締切について

『試験・スクーリング情報ブック2021』にてご確認ください。

- ・学年暦 → p. 4～5 ・通信教育部カレンダー → p. 24～29
- ・演習・実習科目関連締切等
p. 41～44 → 社会福祉士 演習・実習科目関連締切等
p. 45～47 → 精神保健福祉士 演習・実習科目関連締切等

新型コロナウイルス感染防止に関するお知らせ

このたび、新型コロナウイルスの感染者が全国的に急拡大しているため、大学の方針により、2月のスクーリング・科目修了試験について、会場での実施を中止することとなりました。代替方法等については、4部の「会場スクーリングのご案内」をご参照ください。

今後も通信教育部では全国の感染状況など様々な状況を鑑み、会場で行うスクーリングや科目修了試験の実施について、慎重に判断して参ります。ご理解いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

詳細は、下記にお知らせいたしますので、ご一読ください。

なお、ご不明な点は、通信教育部事務室までお問い合わせください。

本冊子でお知らせする内容は、今後の状況により随時変更となる可能性があります。急な変更や3月以降のスクーリング等も含め、最新情報は本学通信教育部ホームページ等でお知らせいたします。

◆中止のスクーリング等およびその代替方法

- ・本冊子4部、本学通信教育部ホームページ等の「新型コロナウイルス感染防止に伴う各種対応について（第16報）」をご参照ください。

・オンデマンド・スクーリングの申し込み等については、前号（152号）以降の『With』5部をご覧ください。

◆対面での学習相談および自習室の使用について

- 1) 当面の間、入構を制限します。
- 2) 平日のみ利用可能となっております。日付は第2希望までご記入ください。
- 3) 「利用申込書」を提出し、予約が必要です。
- 4) 本学通信教育部HPからダウンロードした「利用申込書」を利用希望日の1週間前までにメール添付で提出してください（提出先uc@tfu-mail.tfu.ac.jp）。
- 5) 郵送で提出する場合は、巻末様式を使用し、利用希望日の1週間前までにお申込みください（返送先住所を明記し定形封筒に84円切手を貼付した返信用封筒を同封）。
- 6) 当日は学生証の提示が必須となります。
- 7) 学習相談は平日の下記①～⑤となり1日一人1回の利用となります。
午前（①10：00～10：30、②11：00～11：30）
午後（③14：00～14：30、④15：00～15：30、⑤16：00～16：30）
- 8) 学習相談は講義に準ずるため、録音・録画はご遠慮ください。
- 9) 自習室の利用可能時間は、平日の下記①②となり1日一人1回の利用となります（入室制限：1回4名）。なお、スクーリング開講日につきましては感染防止の観点から閉鎖させていただき、使用できませんのでご注意ください。
①10：00～12：00（120分） ②14：00～16：00（120分）

【注意事項】

- 1) 学習相談または自習室の使用を目的とした入構に限ります。
- 2) 1回の学習相談は最長30分以内、1回の自習室使用は最長120分以内

となります。

- 3) 入館は開始時間5分前からになります。開始時間に遅れないようにお出でください。
- 4) 各終了時には退室していただきます。
- 5) 入退館時は通信教育部職員が受付し、誘導いたします。
- 6) 入構時には、ご持参のマスク（不織布）着用および出入口での検温と手指消毒、チェックリストの記入が必要です。
- 7) 発熱のある方（体温37.5度以上）、体調不良の方は、入構することができません。
- 8) 疾患をお持ちの方やご高齢の方など感染により重症化しやすい方は、メールや電話などでご相談いただき、自習室のご使用は自粛をお願いいたします。

◆事務室各対応時間

〈電話〉 9：00～17：00(水曜日を除く)

〈メール〉 9：00～17：00

◆ご協力をお願い

- ・レポート、各種証明書の申込等は、郵送での提出にご協力ください。
- ・制限下での入構が可能となりましたが、引き続き、電話・メール・郵送での質問・ご相談にご協力ください。

注) 図書館（国見キャンパス）等については、本学図書館ホームページ (<https://www.tfu.ac.jp/libr/>) でご確認ください。

心理学はやっぱり魅力的

教員 MESSAGE

講師 山口奈緒美

みなさま、こんにちは、山口奈緒美です。通信課程では「人間関係論」や「産業・組織心理学」を担当しています。通学課程では、後期、「心理学概論」と「社会心理学各論」を担当しています。この原稿を書いているのは12月半ばですが、講義回数の3分の2が過ぎたころです。振り返ってみて、やはり、心理学は日常生活に根差した学問だなあと改めて思います。生活というのは人の営みですし、心理学の究極的な目標のひとつは人間理解なので、まあ、当然と言えば当然なのですが、やはり、改めてそう思うわけです。

心理学概論の講義で、この間、文化的自己観の話をしました。日本を含むアジア人は、(特に重要)他者との関わりにおいて自己を理解します。こうした自己観の在り方を相互協調的自己観と言います。欧米人は、他者から自分を切り離して、自分自身の能力や独自性を追求することで自己を理解します。相互独立的自己観と言います。このような自己のとらえ方の違いは、行動レベルでも様々な違いをもたらすのですが、そのひとつに、動機付けがあります。アジア人は、相互協調的自己観をもっていて、他者から与えられた役割や期待に応えることに強い関心を持っているので、子どもが何か課題に取り組むとき、重要他者(例えばお母さん)が選んだ問題に一生懸命取り組む傾向があります。欧米人は、自分の能力や独自性に関心が強いので、自分で選んだ問題には一生懸命取り組みますが、他者が選んだ問題にはあまり熱心には取り組みません。

私の娘は今、小学校3年生です。学校での勉強以外に、家庭でも30分の自主学習に取り組ませよう学校から依頼がありました。30分……長い……何をさせよう? 「自分で決めさせるとちゃんとやる」というのは学

童期の教育では広く信じられている標語です。そうだ、自分で決めさせよう、ちゃんとやるはず、と期待した4月でしたが、まあ、そううまくいくはずがないのはお察しですね。困ったなあと思っていたときに、ちょうど、先ほどの話を講義の中で行いました。そうだ、娘はアジア人なのだから、私が選んだものなら取り組むのでは！とひらめきました（私が娘の重要他者であるという確信のもとに）。さっそく、実行しました。今のところは熱心にはがんばっていますが、多分、長くは続かないでしょう、多分。実験上は上述のような結果が示されていますが、それはその場だけの課題への取り組みの結果であって、それが長期にわたって続くということはまた別のお話なので。その時は、学習理論（特にオペラント条件付け）を駆使しようと密かに綿密なシミュレーションを行っています。

さて、先の段落を書き終えてしばらく時間が経過し、新年を迎え、概論の講義も最終回を迎えました。受講生の感想を見てみると、「今まで気づかなかった自分の行動の理由が分かった」とか「何気なく行っていたことの裏に、そんな仕組みがあったとは」というような感想がありました。日々、自分が目にしている現象が、なぜ、どのようなメカニズムで生じるのか、それを言語的に説明できるのが心理学の醍醐味のひとつではないでしょうか。見えていなかったことが見えたとき、これまでの自分の視野の狭さに恥じ入ったり、どんなに多くのことを見逃してしまったのだらうと怖くなったりもしますが、ひとつひとつ知識を積み上げ、それを積極的に活用して行ってこそ、みなさんの豊かな生活基盤のひとつとなり得ると思います。継続して、楽しく、これからも学びを深めて行ってください。応援しています！